

「気仙沼港と風待ちの風景～かとうまさゆき写真展～」

1 趣 旨

東日本大震災から12年。内湾地区（風待ち地区）は復興が進み、商業施設の整備や、国登録有形文化財が再建原され、新しい町並みが形成されつつあります。

また、タイトルにある「気仙沼港と風待ちの風景」は、日本遺産「みちのく GOLD 浪漫～黄金の国ジパング、産金はじめりの地をたどる～」の構成文化財のひとつであり、気仙沼の情景を象徴しています。

今回の写真展では、震災前から内湾地区（風待ち地区）の風景を撮り続けてきた写真家かとうまさゆき氏の写真作品を展示。気仙沼の魅力、ビュースポットを再発見するとともに、故郷への誇りと親しみをもっていただくよう願って開催します。

2 行 事 名

「気仙沼港と風待ちの風景～かとうまさゆき写真展～」

3 主 催

（一社）気仙沼風待ち復興検討会・かとうまさゆき写真事務所

4 開催期間

令和5年3月11日（土）～令和5年4月8日（土）

午前9時30分～午後4時30分 ※店休日 土・日曜日

5 開催場所

国登録有形文化財 角星店舗 2階ギャラリー

6 入場料

無料

7 内 容

・気仙沼港・風待ち地区の四季の風景写真作品



かとう まさゆき氏

日本の自然を中心に酷な k 買いの風景や動植物などを撮影し続ける。また、30年ほど前より奥様の故郷であった気仙沼の自然や港の情景を撮影していたが、東日本大震災を機に気仙沼に移住。復興の記録を撮影し続けている。気仙沼市民となり地域を取材し、気仙沼の魅力を各地に発信している。これまで培った技術を通じて、市民活動として写真の持つ魅力を講演し、変わりゆく街の記録撮影を指導している。各地でデジタルの技術指導や撮影会、写真コンテストの審査員なども務めている。公益社団法人全国写真家協会会員

かとうまさゆき氏 FB

<https://ja-jp.facebook.com/masayuki.katou.7564>

